講座基本情報	
講座名称	事業のマネジメント
講師名	柴田高

講座イメージ	
時間数	約４時間（イントロダクション、ユニット×4、まとめ）
時間割	・イントロダクション ・ユニット１　事業の問題発見と問題解決力 事業のマネジメント＝事業管理が必要な理由 事業計画と事業管理 問題発見から問題解決へ 問題解決力とは ・ユニット２　事業目標と問題解決プロセス 事業目標とは何か ロジックツリーによる目標明確化 問題解決のプロセス（問題発見から解決方法の決定） 問題解決のプロセス（解決方法の実行と評価） ・ユニット３　問題解決に向けた進捗管理 ＳＷＯＴ分析 クロスＳＷＯＴ分析 ＫＧＩ と ＫＰＩ ＫＰＩを設定する 状況変化に応じたＫＰＩの設定 ・ユニット４　ＢＳＣとＰＤＣＡサイクルの活用 ＢＳＣ（Balanced Score Card）とは？ ＢＳＣによる事業の管理 ＢＳＣにおける戦略マップの意義 ＰＤＣＡサイクルによる管理 ＰＤＣＡサイクル運用上の注意事項 ・まとめ
試験方法	ユニット毎の確認テスト（択一問題）および、ディスカッションにおける発言数と講義受講
合格判定基準	ユニット毎の確認テストで平均 70%以上の合格及び、講座毎のディスカッション最

	低発言回数、70%以上の講義視聴状況で評価を行い、講座修了を判定する

講座の特徴及び関連スキル

本講座の特徴

本講座では、事業を推進する際に必ず明らかにしなければならない事業目標の効果的な設定方法と、その目標の実現に向けた効率的な管理方法を学びます。事業目標の設定については、往々にして抽象的、精神論的なものになりがちですが、これをより具体的、定量的なものの組み合わせに再構成していくことにより、成果に向けた進捗管理が可能となります。また、進捗管理にあたっては、Plan-Do-Check-Action （計画－実行－評価－改善）の連鎖による PDCA マネジメント･サイクルを明確化することが必要となります。本講座では、これらを具体的な事例に即して学んでいきます。

関連スキル等

「問題解決力　基礎編」をあわせて受講することをおすすめします。

受講で得られる知識・スキル・コンピタンス

本講座では大きく分けて 2 つの事項を学び、知識を獲得することが期待されています。すなわち第 1 に KPI 設定であり、第 2 に PDCA サイクルです。KPI 設定においては、目標を具体的な事柄に再構成するために、数値目標の組み合わせに再構成することが大事ですが、その際にさまざまな要素のうちの何をもっとも重視するのかを明確化する必要があります。そのために、ロジックツリーを活用して、条件を系統的に整理していくことを学びます。また数値化・具体化した目標に対する進捗管理として PDCA マネジメントサイクルを学ぶ際にも、業務の実践に即した、だれの目にも明確な管理方法として、PDCA マネジメントサイクルが機能します。これらのスキルを身につけることにより、目標達成に向けたモティベーションも高まり、組織の活性化にも貢献する知識の身につくことが期待されています。

講師紹介

柴田高

東京経済大学　経営学部教授

東京大学工学部、東京工業大学大学院総合理工学研究科修士課程修了後、ソニー株式会社に 20 年間勤務。研究所勤務から、事業部の商品企画を経て本社 R&D 戦略グループ、経営企画管理部などで事業計画、新規事業推進などを担当。その間に筑波大学大学院経営・政策科学研究科修士課程、横浜市立大学大学院経営学研究科博士後期課程修了。その後、東京経済大学経営学部助教授を経て、現在は経営学部教授。